

## ラテン・アメリカ政経学会 平成 29 年度総会資料

平成 29 年 11 月 4 日 (土) 13:30~14:30 (予定)

於：京都大学稲盛財団記念館

### 審議事項

1. 平成 28 年度活動報告 (資料 1)
2. 平成 28 年度会計報告 (資料 2)
3. 平成 29 年度事業計画 (資料 3)
4. 平成 29 年度予算 (資料 4)
5. Jorge Alberto López Arévalo 教授 招聘計画 (資料 5)
6. その他

### 報告事項

1. 『ラテン・アメリカ論集』 No.51 の発行について (資料 6)
2. 会員の入退会動向について (資料 7)
3. 平成 30 年度全国大会開催校について
4. その他

総会終了後 平成 29 年度研究奨励賞授与式

## 資料 1

### 平成 28 年度活動報告

平成 28 年度に以下の事業を行った。

- (1) 11 月 5 日～6 日に東京大学・駒場キャンパスで全国大会を開催した。
- (2) ラテン・アメリカ論集第 50 号を発行した。
- (3) 1 月 7 日に神戸大学経済経営研究所にて、韓国と中国の研究者とラテンアメリカ研究東アジアネットワークのワークショップを開催した。
- (3) 研究奨励賞を募集し、選考委員会が選考を行い、受賞者を決定した。
- (4) 12 月 17 日に同志社大学烏丸キャンパスで関西部会を開催した。7 月 15 日に東京大学駒場キャンパスにて関東部会を開催した。
- (5) 地域研究学会連絡協議会、地域研究コンソーシアムの加盟学会として関係学会と交流した。
- (6) 学会ホームページを更新して社会に情報を発信するとともに、メーリングリストを通じた会員向け情報提供のサービスを提供した。

資料2

ラテン・アメリカ政経学会  
平成28年度（平成28年4月1日～29年3月31日）会計報告  
（平成29年3月31日現在）

(1) 一般会計

収入の部		支出の部	
前期繰越金	3,800,262	A	
会員会費収入	848,000	全国大会開催関係費	345,020
（個人会員）	848,000	学生会員への旅費補助	0
（維持会員）	0	印刷費	4,200
雑収入	33	消耗品費	594
（預金利息）	33	通信費	58,371
		事務局経費	77,282
収入合計	848,033	支出合計	485,467
差引残高（収入－支出）	362,566	B	
		次期繰り越し金（A+B）	4,162,828

会計監査報告

上記の平成27年度会計報告は、領収書ほかの証拠書類と照合したところ、適正に処理されていると認めます。

平成29年 10 月 24 日

監事

片方周一郎



監事

周田勇



### 資料3

#### 平成29年度事業計画（案）

平成29年度に以下の事業を行う。

- (1) 11月3日～4日に京都大学・稲盛財団記念館で全国大会を開催する。
- (2) ラテン・アメリカ論集第51号を発行する。
- (3) 地域部会を開催する。
- (4) 地域研究学会連絡協議会、地域研究コンソーシアムの加盟学会として関係学会と交流する。
- (5) 研究奨励賞の選考委員会を設置して選考を行い、受賞者を決定する。
- (6) 学会ホームページを通じて社会に情報を発信するとともに、メーリングリストを通じた会員向け情報提供のサービスを提供する。
- (7) 国際学术交流を実施する。
  - 1) ラテン・アメリカから研究者を招聘する会員への補助事業の実施
  - 2) 日中韓ラテン・アメリカ研究ネットワークへの参加
- (8) その他、本会の目的に合致する事業。

## 資料 4

## 平成 29 年度予算(平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日)(案)

(平成 29 年 11 月 2 日作成)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	4,162,828		
会員会費収入	880,000	全国大会開催校補助	150,000
（個人会員）	(880,000)	学生会員に対する旅費補助	25,190
（維持会員）	(0)	研究奨励賞（楯・副賞）	30,000
雑収入（預金利息など）	500	印刷費・編集費（論集）	750,492
		（抜き刷り）	22,680
		国際交流・研究者招聘補助	190,000
		事務局経費	
		（ホームページ維持費）	40,000
		（通信費）	80,000
		（その他）	70,000
収入合計	880,500	支出合計	1,358,362
		今期収支	-477,862
		次期年初残高	3,684,966

村上勇介（京都大学）

○ 企画の骨子

平成29年度のラテン・アメリカ政経学会の定期大会に、メキシコ・チアパス自治大学社会科学部教授の経済学者 Jorge Alberto López Arévalo 氏を招聘する。講演（参加費無料）をお願いし、さらにその内容を機関誌に投稿してもらうこと等を通じて、大会の活性化と研究者間の交流を図る。

○ 本企画の理由と経緯、期待される成果

- ・ラテン・アメリカ政経学会は、その長い歴史と開催校の努力にもかかわらず、近年の定期大会において、報告者の顔ぶれや参加者の数に大きな変化のみられない状況が続いてきた。こうした中、海外から一流の研究者を招聘することは、大会の活性化に寄与すると考えられる。
- ・政経学会は、経常的な予算が80万円程度なのに対し、平成27年度期末で369万円の繰越金があり、安定した財政基盤を有する。このため、繰越金の一部を招聘費に充てることは可能である。予算が5年間で100万円、年間上限25万円という招聘プロジェクト案が、理事会のメール審議で承認された。
- ・学会誌『ラテン・アメリカ論集』に、講演内容を英語ないしスペイン語で論文として投稿してもらうことは、学会の研究活動を活性化させるのにふさわしい企画といえる。
- ・大会実行委員の間で、招聘候補者を検討した結果、メキシコ・チアパス自治大学社会科学部教授の経済学者 Jorge Alberto López Arévalo 氏を第一候補とすることに決定した。ラテンアメリカ諸国のなかでメキシコは、トランプ政権の誕生以降、同政権が実施する諸政策の直接的な影響を最も受けている国であり、その現状を分析することは、同国にみならず、他のラテンアメリカ諸国やラテンアメリカ地域全体の今後、さらにはアジア太平洋や世界の将来を考察する際に多くの含意を提起するものと考えられる。チアパスという一地方の視点からグローバル化の諸問題について分析と研究を蓄積してきた経済学者に、トランプ政権誕生とTLCの関係について講演してもらうことは、学術的な価値があることに加え、非会員を含む多くの聴衆を期待できる。López 氏に連絡を取ったところ、快諾を得た。

○ 招聘計画の詳細

・ Jorge Alberto López Arévalo 氏の日程

- －10月29日（日） トウクストウラグティエレス発、メキシコシティと成田経由
- －10月31日（火） 伊丹着 ホテルユニゾイン京都四条河原町泊（予約済）
- －10月31日（火）～11月1日（水） 京都大学東南アジア地域研究研究所環太平洋研究ハブ形成プロジェクトの研究活動に従事
- －11月2日（木） 定期大会プレイベントの「現代メキシコセミナー」に招待 同上ホテル泊（予約済）
- －11月3日（金） 政経学会大会 特別セッションと懇親会に招待 同上ホテル泊（予約済）

- 11月4日(土) 政経学会大会講演 同上ホテル泊(予約済)
- 11月5日(日) 大阪発、成田とメキシコシティ経由、トゥクストゥラグティエレス着

・招聘の体制

- 講演は京都大学東南アジア地域研究研究所の環太平洋研究ハブ形成プロジェクト、複合共同研究「秩序再編の地域連関」、個別共同研究ユニット「体制転換過程の比較研究」/「環太平洋地域における秩序再編動態の研究」と共同して実施する。前述のプロジェクトならびに共同研究は、特定のテーマについてラテンアメリカをふくむ複数の地域を比較分析することを目的としている。
- 招聘は、主催校の責任の下に実施する。また、López氏と旧知の安原毅会員の協力をえる。
- López氏の講演は無料とし、広く宣伝を行う。

・招聘予算

- 大阪(伊丹)⇔トゥクストゥラグティエレスの往復航空券と宿泊費のうち、半額を政経学会の招聘予算から、残りの半額を上述のプロジェクト・共同研究経費から支払う。
- 内訳

①航空券：大阪(伊丹)⇔トゥクストゥラグティエレス間の往復航空券は、¥255,400円。

この半額の¥127,700円が学会負担分。

②日当宿泊費：宿泊を伴う滞在費(日当を含む)は20,000円(京都大学規定)×5泊=100,000円

③交通費：約2万円

小計(①+②+③)=375,400円、約38万円) → 学会負担は半額の約19万円。

○ 招聘研究者の略歴

スペインのサンティアゴデコンポステラ大学で応用経済学の博士号を取得。現在、メキシコのチアパスチアパス自治大学社会科学部教授。専門分野は、グローバリゼーションに関する応用経済学、産業内取引の分析、グローバル化と移民。チアパスという一地方からの視点でグローバル化、国際移動、産業チェーンといった課題を研究してきた。経歴については、以下を参照。[http://www.dgip.unach.mx/images/MDL/CV\\_Jorge\\_L%C3%B3pez.pdf#search=%27Jorge+Alberto+L%C3%B3pez+Ar%C3%A9valo%27](http://www.dgip.unach.mx/images/MDL/CV_Jorge_L%C3%B3pez.pdf#search=%27Jorge+Alberto+L%C3%B3pez+Ar%C3%A9valo%27)

資料 6

ラテン・アメリカ論集 No. 51 (2017 年) 目次

< 依頼論文 >

“El Tratado de Libre Comercio de América del Norte en tiempos de Donald Trump”  
Jorge Alberto López Arévalo (Universidad Autónoma de Chiapas) (予定、28 p)

< 研究論文 >

ラテンアメリカ中所得国経済の発展と停滞における構造問題 浜口伸明・村上善道  
(20p)

< 書評 >

岡田勇 著

『資源国家と民主主義—ラテンアメリカの挑戦—』 和田毅 (6 p)

宇佐見耕一・菊池啓一・馬場香織 編著

『ラテンアメリカの市民社会組織—継続と変容—』 山本純一 (7 p+裏白紙 1 p)

後藤政子 著

『キューバ現代史—革命から対米関係改善まで—』 田中高 (5 p+裏白紙 1 p)

清水達也 著

『ラテンアメリカの農業・食料部門の発展』 佐野聖香 (5 p+裏白紙 1 p)

後藤政子・山崎圭一 編著

『ラテンアメリカはどこへ行く』 堀坂浩太郎 (7 p+裏白紙 1 p)

< 研究奨励賞 >

受賞者と受賞対象業績、受賞者のことば (2 p)

< 学会消息 >

第 53 回、第 54 回全国大会プログラム (4 p)

理事会 (1 p)

学会規約ほか要領など (10 p)

編集後記 (1 p) 資料 8

## 資料 7

## 会員の動向

入会者			
	氏名（種別）	所属	推薦会員
1	竹下幸治郎（一般）	日本貿易振興機構	子安昭子
2	鈴木大史（学生）	宇都宮大学大学院	浦部浩之
3	松野哲朗（学生）	東京外国語大学大学院	田島陽一
4	モニカ・ロッシヤ・デ・カ ルバリョウ（学生）	上智大学大学院	浜口伸明
5	進藤玲子（一般）	横浜国立大学	山崎圭一
6	上谷直克（一般）	アジア経済研究所	受田宏之
退会者			
	逝去	石井章	
	退会を志望	吉田頼且	
会員数（在外会員を含む）			
	一般会員（学生、シニア含）（平成 28 年 11 月 5 日）		154 名
	新入会員		6 名
	退会会員		2 名
	長期会費未納による除名		0 名
	一般会員（学生、シニア含）（平成 29 年 11 月 4 日現在）		158 名
	法人会員		0 社